

充電禁止電池を充電したことで発生した火災事例

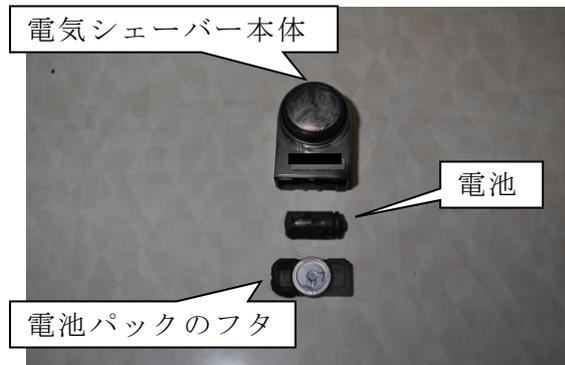
火災概要

一般住宅に居住する男性が、居室内で自らのヒゲを剃るために電気シェーバーを使用していたところ、突然電池パック付近が炎を噴き破裂したという「建物火災」です。

自然鎮火していますが、電気シェーバーそのものと居室の床面が一部焼損し、電気シェーバーを使用していた男性が顔面と右手に火傷を負い、病院へ救急搬送されています。

原因概要

検証の結果、これは男性が誤って充電禁止電池を充電して電気シェーバーに使用したために、電池の内圧が急上昇し、電池のプラス極側にある穴から一気にガスが放出されたことで、まるで爆発するかのような破裂を起こし、火災となったものです。



焼損した電気シェーバーと、それに使用していた「CR123A」という型の電池です。



正常な CR123A と比較してみました。焼損した CR123A の底面は異常に膨れ上がっていることが分かります。



左の写真のように CR123A 用の充電器も販売されています…

が！

CR123A は充電禁止のものが大半です！！



文字は小さいですが、確かに「充電禁止」とあります。

(類似火災の防止)

- ① 固定観念を捨て、電池の仕様書など、注意書きにはしっかりと目を通しましょう。
- ② 安価な海外製品を使用する場合は特に注意を払いましょう。

…火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。…